

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月22日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	消防団活動事業	コード	94201
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 消防課	作成者 増澤 亘司
--------	--------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	消防・救急体制の充実
		予算科目	消防団活動事業費	業務委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	消防組織法第9条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民の安全・安心の確保を図るため、地域防災の中核的存在としての消防団活動全般。		
目的	対象者	市民	
	意図	火災などの災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心な都市の形成。	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p><消防団出動> 【出動：443件 延べ出動人員：9,104名】 ① 火災等各種災害出動 出動回数：443件 延べ出動人員：10,514名 （内訳：火災20件/風水害5件/演習130/捜索4件/広報指導20件/特別警戒45件/調査125件/その他94件） ② 実践を想定した訓練 実施回数：130件 延べ出動人員：3,479名 （主な訓練：消防団・消防署合同訓練71名/岡谷市消防操法・ラッパ吹奏大会319名等） ③ 岡谷市消防出初式 出動人員320名</p>			
前年度の課題への対応	特になし		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	訓練等実施回数			単位	回
実績値	3	3	3		
*指標の説明	岡谷市消防出初式・ポンプ操法、ラッパ吹奏大会・中継放水訓練への参加率。				
② 成果指標（指標名）				単位	人
目標値	1,070	1,070	1,070	1,070	
実績値	904	692	692		
達成度	84.5%	64.7%	64.7%		
*指標の説明	出動報告による。				
*目標値の設定方法の説明	団員実員×3回の65%を目標とする				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	84,957,000	67,654,429	67,742,660	65,296,000
経常経費	84,957,000	67,654,429	67,742,660	65,296,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
正規職員の人数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90
③ 合計コスト(①+②)	100,157,000	82,854,429	82,942,660	80,496,000
前年度比		82.7%	100.1%	97.1%
財源				
一般財源	86,359,000	71,370,879	72,653,858	69,485,000
内訳				
特定財源	13,798,000	11,483,550	10,288,802	11,011,000
* 特定財源の説明	消防団員退職報償金収入、消防団員等遺族補償年金収入、消防団員福祉共済事務負担金			
④ 活動一単位あたりコスト	33,385,667	27,618,143	27,647,553	
前年度比		82.7%	100.1%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
諏訪消防協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	293,000	591,182	590,202	587,000
分団運営交付金	件数	1	1	1	1
	金額	7,411,300	7,411,300	7,411,300	7,412,000
団長会議等出席負担金	件数	2	2	2	2
	金額	14,000	14,000	14,000	14,000.00
団員等公務災害補償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	1,228,043	1,218,611	1,218,548	1,219,000
団員退職報償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	10,541,000	10,540,800	10,540,800	10,541,000
アの①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	19,487,343	19,775,893	19,774,850	19,773,000
	割合	22.94%	29.23%	29.19%	30.28%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 64.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、団員確保、公務員の入団促進、処遇改善、装備の充実、教育訓練の標準化等が課題である。 ・上記に合わせ「消防団員の負担軽減」についても検討する必要がある。 ・消防団ポンプ自動車の更新事業に取り組む必要がある。 	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員確保対策として、魅力ある消防団づくりとして「消防団員サポートショップ制度」「消防団協力事業所制度」「岡谷市入浴施設補助制度」を継続するなどの施策を継続する。 ・活動服への切換え、安全機能付無線機の更新を行ったが、装備の充実により安全面の確保に取り組む。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---